

---

Like a human

夕焼け

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Like a human

### 【コード】

N8299K

### 【作者名】

夕焼け

### 【あらすじ】

それはまるで、人の形に見える。僕にはそう見える。

昔からわりとよく映画を見る。  
大体年に40本から60本くらい見る。

基本的にはほとんど洋画で、邦画も時々は見るけど、好んで見る作品の傾向としては、商業的な成功をあまり意識していないようなものが多い。

だからといって大衆娯楽映画を全く見ないわけじゃないし、この前はアバターをオカンと一緒に見に行った。  
変に小洒落てないインディーズフィルムなんかも時々見る。

先週は「リチャード・ニクソン暗殺を企てた男」と「ビジター」を見た。

どちらもアメリカ社会や資本主義経済の内包する問題が物語の軸にあるんだけど、描き方としては「社会的、政治的な話」でなくて、「登場人物たちのごく個人的な話」として描かれていて、あまり社会情勢に拓けてない人でもスナック菓子食いながら気楽に見て楽しめるんじゃないかと思う。

無論直接描かれてるのはアメリカ社会の問題についてなんだけど、多くは日本や他の多くの先進国にも当てはまる問題で、そういうものを学ぶ導入としてはすごく分かりやすくデフォルメされていていいと思う。

その意味では武器密輸商人への取材を元に作られた「ロードオブウォー」っていう映画や、アメリカ社会をコメディイテストで風刺した「サンキュー・スモークキング」、ロシアの陪審員制度やチェチェン紛争、それによって生まれた多くの戦災孤児、現代のロシアが抱

える様々な社会問題を描いた、ニキータ・ミハルコフ監督版の「12人の怒れる男」なんか面白い。

「12人の怒れる男」に関しては同名の古いアメリカ映画があつて、そのリメイクなんだけど、1957年のアメリカ版と2005年のニキータ版を見比べてみるのも面白い。

どれも「社会問題に精通してる人」にとつてはちょっと退屈かもしれないし、突き詰めて学ぶには少し稚拙で誇張されすぎた描写に見えるかも知れど、あまりそういつた問題に詳しくない人が見て、視野を広げるには丁度いいエンターテイメント作品だと思う。

俺みたいな「学校の授業は退屈すぎてとてもまじめに聴く気になれないけど、社会問題に対して多少の興味はある」って人にはすごくお勧め。

正直糞の役にも立たない年号を延々黒板に書き連ねるより、こういう映画を見せたほうがよっぽど教育上よろしいんじゃないかと思う。

大事なのは「何年にどこで何が起こったのか」なんていうどーでもよすぎる退屈なトリビアじゃなくて、それが起こるに至った経緯、その瞬間その問題に直面した人々の心情や事情、彼らの生き様に共感をして、そこから何かを能動的に学ぶ事なんじゃないかと、俺なんかは思う。

「地球の裏側のどこぞの町で、抑圧された人民達が一揆をおこしました」なんていきなり言われても、平和ボケした日本の、温室育ちの僕らゆとり世代にはとてモリアリテイなんて抱けない。

リアリティの抱けない問題について、真剣に考えるなんて出来るはずも無い。

せいぜいゲーム感覚で勝ったの負けたのをする討論が関の山だ。

その年、その町を生きた一人の「主人公」になりきって、その「主人公」の二つの瞳を借りて、その当時の町並みや景色を見て、その主人公が生活の中で関わり合う、様々な人々の言葉や人生観に触れて、その匂いを感じて、そうやって想像を深めていって、そこでやっと「その時代、その町を生きて、そのささやかな安息が理不尽な力によって奪われた時、やむを得ず武器を手にした人々の心情」を理解する事ができるんじゃないか。

それは歴史から学ぶべき最も大切なことのうちのひとつだと思う。教育機関がなぜいつまでもそれを教えようとせず、鼻糞ほどの役にも立たない年号や数式を、画一的に子供達の頭に叩き込む事に躍りになってるのが分からない。

教育を施す側の大人たちに、教育を施行できるほどの知性が備わってるのか、疑問と欺瞞を禁じえない。

僕は映画が好きだ。

物語を通じて描かれる「人間の姿」が好きだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8299k/>

---

Like a human

2010年10月31日00時08分発行